

令和6年度 事業計画

社会福祉法人 上陽福寿会

1. 基本方針

昨年はコロナ感染症も2類から5類に引き下げられ、以前のような生活様式にもどり経済活動も少しずつ復調の兆しが見えてきたが、円安の影響や労働力の不足が深刻な問題となっている。

介護業界においても全国の社会福祉法人の4分の1は赤字に、特養施設においては実に60%が赤字になっている状況です。

グループにおいても今までよりさらに強い意志を持って協力・連携しこれらの困難に立ち向かっていかなければなりません。各部署・各施設で乗り越えなければならない問題が発生したときは、施設の垣根を超え全職員が一丸となって立ち向かっていきたいと思えます。

また本年度は介護・医療・障害のトリプル改定の年であり、各責任者が情報共有しスムーズに対応することが必要となります。

グループがこれらの困難を乗り越えさらに盤石なグループとして成長する為に、次のことを念頭に職務に励んでください。

理事長年頭訓示

- ① 感染対策を講じながらの安定した事業運営。
- ② 経費削減に努めながら事業収益を確保する。
- ③ 人材確保に努め安定した事業運営を図る。
- ④ 本年度改定に対応し情報共有を行い効率的に加算等の算定を行う。
- ⑤ 各施設・各部署の問題を共有し連携を図り解決に導く。

以上、理事長の訓示に対し、本年を「事業の発展とさらに安定した運営」を目指し次項を重点的に取り組むしたい。

2. 重点事項

① 適切な入所者処遇の徹底

- ・ 報告・連絡・相談の徹底（施設・職員間の連携強化）
- ・ 利用者本位のサービス提供
- ・ 事故・感染症防止及び健康管理の徹底

② 役職員の資質の向上

- ・ テーマ設定による全職員の勉強会の実施（感染対策の徹底）
- ・ 個人別計画による派遣研修の実施（様々なツールの活用）
- ・ 接遇改善への取組み
- ・ 介護技能実習生受入れへの対応、指導・教育

③ 安定的な施設運営

光陽の郷

- ・ 利用者の確保（特養・デイサービス・ショートステイ稼働率90%以上）
- ・ 感染症予防の徹底。
- ・ 新しい職員の確保とスキルの向上を目指し、安全性と安心性を高めて行く。

第二光陽の郷

- ・ 新型コロナウイルス等感染症予防の徹底及び、健康管理体制の確立。
- ・ 職員の確保及び定着（働きやすい職場環境の確立・新たな技能実習生等受入の検討対応）
- ・ 利用者の確保（特養満床に近い利用・ショートステイ平均24名・デイサービス33名）